

R18  
For Adult Only

# 蒲公英騎士の 墮落



旅人と、行動を共にしていたエウルアの二人が消息を絶つたとの報告を受けたジン・グンヒルドは、二人が調査に赴くと告げていた付近に存在するヒルチャールの集落に単身乗り込んだ。

この境界のヒルチャールならば物の数ではない——その筈だった。集落の中央に建てられた木造のドームに踏み込みむ。

苦も無く数体を斬り伏せ、奥へ進んだところで囚われていた二人を発見した。  
「旅人 エウルア……今助ける！」

その眼前を阻むように現れたのは、これまでとは明らかに異なる雰囲気を漂わせたヒルチャール達だった。

（なんだ、この威圧感は……）

この境界に出没していたヒルチャールとは違う。

自分と同等、それ以上かもしれない力を持っているのではないか。

（しかし、ここで私が負けるわけにはいかない）

ジンは凜として自らの怯えを捨て、渾身の力を込めて剣を突き出した。

次の瞬間、ジンはヒルチャールの棍棒によって突きごと払い除けられ、宙を飛んだ。

「kuccha kuccha」

「くっ……」

（このヒルチャール達、強すぎる……ッ）

無様に足で踏みつけられ、武器も折られ

圧倒的な力の差を見せつけられてジンは敗北した。

「いつも仲間だよ」  
「Vat+ommo」

「私を一体どうするつもりだ！二匹を……旅人とエウルアを返せ！」  
敗北したにも関わらず、ジンは行方不明になっている二人の為に  
必死に気を張り上げて、賢明に叫んだ。

「いつも仲間だよ」  
「Vat+ommo」





容赦無く犯され続けるジン。  
ヒルチャールとなったエウルの性欲は底なしだった。

後ろをエウルに攻め続けられ、そして旅人だったヒルチャールが  
ジンの前へと立つ。ジンの形の良い唇がこじ開けられた。  
醜悪な一物が勢いよく回内へとねじ込まれると、汗と精液の  
耐え難い臭気が口内に満ちてジンの脳を揺さぶる。

「むぎっ！んんーっ」  
（臭いッ 気持ち悪いッ）

「もう……やめ……んあ！ああッ」

「お願いだ……ッ エウルデ、目を、目を覚ましてくれッ」



旅人とエウルシアは性欲を満足させるとジンから離れていく。  
それを見計らって、ヒルチャールのシャーマンはジンの眼前へと進み出た。

お前も仲間になる

「Y a m i m i t o m b o r o」

「うっ あ、あああああああッ！ あがあああああーッ！！」

「うっ……何を、するつもりだ……」

杖を軽く揺らしながら、何かを詠唱する。

それが合図のようにジンの下腹部に紋章が浮かび上がり始めた。





強力なヒルチャールに敗北し、鎖に繋がれた雷電將軍。  
虜囚の身となった彼女に、異質なヒルチャールが襲いかかった。

『不覚……』

Lv. 10

Lv. 10

Lv. 10

このヒルチャール達が、モンドで消息を絶った西風騎士団の  
成れの果てとは彼女には知りようもなかった。

『Upai! Upai!』

「ぶ、無礼者ッ」

「抜きなさいッ」

「抜いてえ！」

「あぐっ いやあああッ！」

Lv. 80

「私にこのような事をして、ただでは……え？」

鎖に繋がれたまま、雷電將軍は秘処に突き刺されたまま後ろからジンだったヒルチャールによって抱き抱えられた。ヒルチャールのシャーマンが詠唱し、杖がゆっくりと振られる。

08.17

「あつ、ああアアッ!!!  
(身体が、熱いッ)」

!!!

相手の意図を、雷電將軍はようやく悟った。  
この者は、自分も仲間にしようとしていている、と……。  
自分を犯しているこのヒルチャールも、こんな末路を辿ったというごときを。  
下腹部に浮かび上がる紋章。  
そして、突き出された仮面を見て確信へと変わる

「ト……嫌ッ」

か弱い少女のように怯え、顔を背けようとするが  
無造作に髪を掴まれ、仮面へと向き直される。

「ひき返さなッ!!  
あ、ああああああああッ」

「GYAAAAAAAAA!!!」

Lv. 5

一匹のヒルチャールが、サルのように自慰を繰り返していた。

股間に生えた二物を必死にしごき続けるそれはかつて雷電將軍と呼ばれていたヒルチャール。

その仮面の下では無様な顔で涎を垂れ流し続けていた……。

「UppaUppaaaaaa!」



ゲスト：銀鈴様  
ジン 人格排泄







## あとがき

どうもお久しぶりでございます。前回から2年以上経ってしまいました。  
ようやくコロナも落ち着き、復活という運びとなりました。  
本来であれば、こちらのセーラーヴィーナス本の予定でした。  
が、原神は今の内にやっておかないと将来的に妄想が続いているか不安  
でした……。  
やるなら今だ、と……難航でしたが。  
キャラがエロいですよね。その中でもジンさんと雷電将軍がお気に入りです。

セラムンに関しては、きっといつでもイケるという安心感がありますが、リメイクも  
一段落してしまい、次はセラムン出せるかどうか不安です。  
オリジナルの本も出したいのですが……。  
年々、オナニー回数が減っている今日このごろ。  
冬コミは作品未定ですが、出たいと思いますので、その折は宜しくお願い致します。

### < 奥付 >

作品名：蒲公英騎士の墮落

発行：墮落事故調査委員会

代表者：シューミット

発行日：2023年8月13日

印刷：PICO(プリンティングイン株式会社)

メール：sch-mit@goo.jp

pixivID:sch-mit

Presented by  
墮落事故調査委員会



18歳未満の方の購入は固く禁止します